

「臨床外科」 第32巻 総目次

1977年(第1号~第12号)

数字は通巻頁数, () は号数を示す.

〔特 集〕

—人工肛門の After Care—

After care よりみた人工肛門造設術

安富 正幸・福原 毅・岩佐 善二

吉川 守……………13(1)

人工肛門 after care の実際

—人工肛門に付随する患者の苦悩—

穴沢 貞夫・鈴木 正弥・線 貫 喆……………23(1)

人工肛門 after care の実際

—装具の選択とその問題点—

笹村 雅人・津島 恵輔……………31(1)

人工肛門 after care の実際

—人工肛門患者の日常生活管理—

江口 英雄・福島 恒男・犬尾 武彦

土屋 周二……………37(1)

人工肛門 after care の実際

—ストーマの処理: 局所管理からみた

治療と実際—

田沢 賢次・田島 健三・曾 我 淳

藤巻 雅夫・武藤 輝……………43(1)

人工肛門 after care の実際

—腸洗浄法と自然排便法—

牧野 永城・葛西 猛……………51(1)

ストーマクラブと専門外来の現状

鈴木 義雄・大谷 忠久……………57(1)

—腹部手術後の輸液—私はこうしている—

術後代謝からみた輸液

谷村 弘・日笠 頼則……………157(2)

消化器手術後の輸液……………小野寺時夫……………167(2)

消化器手術後の輸液

岩淵 真・桑山 哲治・松原 要一

大沢 義弘・武藤 輝……………175(2)

穿孔性腹膜炎・イレウス手術後の輸液

岡田 正……………183(2)

腎障害を伴う場合の腹部手術後の輸液

小越 章平・小高 通夫・碓井 貞仁

相馬 光弘・坂本 昭雄・山室美砂子

入江 氏康・小出 義雄・野村 庸一

田畑陽一郎・小林 弘忠・佐藤 博……………189(2)

小児の腹部手術後の輸液

—特に新生児・乳児の消化管術後輸液に

ついて—

水田 祥代・池田 恵……………197(2)

輸液の手法と装置……………長谷川 博……………205(2)

—外科と薬剤—

抗生物質

—抗生物質の選び方—

由良 二郎・石川 周・高岡 哲郎

土井 孝司・恵美 奈実・鈴木芳太郎

鈴木 一也・品川 長夫・柴田 清人……………297(3)

抗生物質

—大量投与と濫用の問題—

清水喜八郎……………303(3)

抗生物質

—予防的使用の功罪—……………加藤 繁次……………309(3)

鎮痛・鎮痙・鎮静剤……………長 浜 遠……………315(3)

血管収縮剤と血管拡張剤

—とくにショックの治療を中心として—

早坂 滉・前仏 郁夫……………323(3)

強心剤と利尿剤

—腹部外科と関連させて—

林 四郎・小山 省三……………331(3)

止血剤と抗血栓療法

村上 文夫・大城 孟……………337(3)

ステロイド

—ショック時を中心に—……………岡田 和夫……………345(3)

—ヘルニアの再検討—

乳幼児鼠径ヘルニアの扱い方

石田 正統・堀 隆・本名 敏郎……………433(4)

成人鼠径ヘルニアに対する術式とその選択

牧野 永城・佐藤 光史・木村 光博

伊藤 正幸……………441(4)

大腿ヘルニア

—診断上の盲点と治療—……………村上 治朗……………449(4)

腹壁癒痕ヘルニアの予防と処置

陣内傳之助・明 石 明……………459(4)

—非癌性乳腺疾患の外科—

乳腺症一本態と治療……………妹尾 亘明……………553(5)

乳腺炎—取扱い方と鑑別—……………高橋 勇……………563(5)

乳腺線維腫—診断と処置—

渡 辺 弘・金杉 和男・牛込新一郎

広田 映五……………569(5)

乳腺葉状囊胞肉腫

深見 敦夫・今田 敏夫・坂元 吾偉…575(5)

乳頭の異常分泌—処置と問題点—

榎本 耕治・伊藤三千郎・安村 和彦

浅越 辰男・須田 厚・竹下 利夫

阿部 令彦……………583(5)

乳房異物—障害と処置—…………久保 完治…593(5)

比較的稀な非上皮性乳腺腫瘍…泉 雄 勝…599(5)

—今日の胆道造影—

Editorial—胆道造影の進歩…亀田 治男…678(6)

術前胆道造影—DIC の効用と限界—

南部 勝司・浪久 利彦・今 哲 二…681(6)

術前胆道造影

—ERCP の実技から読影まで—

春日井達造……………687(6)

術前胆道造影—PTC の適応から

PTCD の実施まで—

高田 忠敬・内田 泰彦……………697(6)

術前胆道造影—Combined method

の実際と効用—

佐藤 寿雄・高 木 靖……………705(6)

術中胆管造影の実施から読影まで

—私はこうしている—

西方不二彦・中山 文夫……………713(6)

術中胆道造影の実施から読影まで

—私はこうしている—…相 馬 智…719(6)

術中・術後胆道造影

—T字管挿入から抜去まで—

宮崎 逸夫・永川 宅和・小森 和俊…729(6)

—甲状腺機能亢進症＜外科医の役割＞—

甲状腺機能亢進症のホルモン動態

鎮目 和夫・前田美智子……………813(7)

甲状腺機能亢進症診断上のアプローチ

—最近における進歩—…福 地 稔…821(7)

甲状腺機能亢進症治療法の選択と基準

—¹³¹I 療法の適応と禁忌—

松井 謙吾・飯尾 正宏……………827(7)

甲状腺機能亢進症診断上のアプローチ

—抗甲状腺剤による治療法の適応

と限界—……………橘 敏 也…835(7)

甲状腺機能亢進症治療法の選択と基準

—最近の手術療法—

原田 種一・松土 昭彦……………843(7)

甲状腺機能亢進症術後後遺症

藤本 吉秀……………849(7)

—上部消化管大量出血—

急性上部消化管大量出血の応急対策

長尾 房大・池内 準次・曾爾 一顕

小野 良実・鈴木 康治・向 島 祐

岩淵 秀一・稲垣 芳則・元永 周二…945(8)

上部消化管出血源の探索

—緊急内視鏡検査—

平塚 秀雄・長谷川充輝・後町 浩二

石本 邦夫……………953(8)

上部消化管出血源の探索—X線検査—

白壁 彦夫・池延 東男・有 山 襄

高木 直行・大橋 計彦・白田 一誠

早川 尚男……………961(8)

上部消化管出血源の探索

—その他の検査；選択的動脈撮影法など—

佐々木常雄・伊藤 勝基・加藤 信夫…965(8)

上部消化管大量出血源不確定の場合の対策

大久保高明・杉 山 貢・西 山 潔

福島 恒男・土屋 周二……………971(8)

上部消化管大量出血の手術をめぐる問題点

—食道静脈瘤—……………磯松 俊夫…981(8)

—胃・十二指腸潰瘍—

松 木 久・武藤 輝……………987(8)

—ストレス潰瘍—……………島津 久明…993(8)

上部消化管大量出血の手術をめぐる問題点

—胃 癌—

西 満 正・加治佐 隆・野村 秀洋

川路 高衛……………999(8)

上部消化管出血の非観血的止血法

竹本 忠良・榊 信 広……………1005(8)

—逆流性食道炎—

逆流性食道炎診断上の問題点

遠藤 光夫・林 恒 男・吉 田 操…1081(9)

術後逆流性食道炎とその対策—胃全摘—

平 島 毅・原 輝 彦・久賀 克也

赤井 寿紀・武藤 護彦・佐 藤 博…1089(9)

術後逆流性食道炎とその対策

—胃全摘—……………岡島 邦雄…1097(9)

術後逆流性食道炎とその対策

—噴門部切除—

井 口 潔・中村 輝久……………1105(9)

術後逆流性食道炎とその対策

—姑息的治療法の限界と外科的治療—

石川 義信・福島 松郎・加国 紀夫

角田 秀雄・川口 忠彦・福田 昌	1113(9)
食道裂孔ヘルニアと逆流性食道炎	
篠福 哲彦・渡辺 正敏・大津 幸世	
石田 薫・瀬田 孝	1121(9)
—肺癌＜新しい診療のポイント＞—	
早期肺癌の診断	
—集団検診によるアプローチ—	
西村 穰・杉浦 孝彦	1213(10)
早期肺癌の診断	
—X線・内視鏡的立場から—	
難波 煌治・塩谷寿美恵・山内 俊忠	
鈴木 明・西脇 裕	1219(10)
私の肺癌手術—手技とそのコツ—	
木下 巖	1227(10)
私の肺癌手術—いつも心がけていること—	
末舩 恵	1235(10)
私の肺癌手術—手技とそのコツ—	
早田 義博・清水 正夫・小野寿太郎	1241(10)
気管支・気管成形術の適応と手技	
石原 恒夫	1247(10)
肺癌手術と併用療法の実践	
—化学療法—	山口 豊 1253(10)
肺癌手術と併用療法の実践	
—免疫療法の理論と実際—	
宮沢 直人・米山 武志・成毛 詔夫	
照井 頌二・末舩 恵・尾形 利郎	
土屋 了介	1259(10)
肺癌手術と併用療法の実践	
—放射線療法—	砂倉 瑞良 1267(10)
肺癌手術と患者管理	
仲田 祐・川上 稔	1273(10)
—Biopsy の再検討—	
上部消化管の生検	小黒八七郎 1353(11)
下部消化管の生検	
長 廻 紘・佐々木宏晃・三輪 洋子	
河野 秀親	1361(11)
体表に触知する腫瘤の生検	
赤井 貞彦・佐野 宗明	1377(11)
術中迅速標本と手術—甲状腺—	
丸山 雄造・宮川 信・牧内 正夫	
降旗 力男	1383(11)
術中迅速標本と手術—膵・胆道—	
中山 和道・内藤 寿則	1389(11)
術中迅速標本と手術—乳腺—	
小山 博記・和田 昭	1397(11)
臨床病理よりみた生検の問題点	

須知 泰山	1403(11)
-------	----------

—目でみる話題の消化器手術—

腸管吻合器を使用した食道静脈瘤に対する 経腹的食道離断術	
遠藤 光夫・小林誠一郎・高崎 健	1493(12)
Selective Proxymal Vagotomy without Drainage Procedure	
大野 博通・中村 哲彦・北原 哲夫	1499(12)
内視鏡的乳頭括約筋切開術	
相馬 智・小野美智子	1506(12)
難治性大量腹水に対する腹腔・大静脈 (P-V) シェント	
樋上 駿・池永 達雄	1513(12)
広範囲肝切除の基本手技	
長谷川 博・山崎 晋・三輪 潔	1521(12)
直腸癌に対する低位前方切除術	
安富 正幸・松田 泰次・安積 奎三	
吉川 守	1529(12)
経括約筋的直腸腫瘍切除術	土屋 周二 1535(12)
ヒルシュスプルング病の Martin 手術	
梶本 照徳・中村紘一郎	1543(12)
Continent Ileostomy (kock) の作成法	
中野 春雄	1549(12)

〔カラーグラフ〕

消化管内視鏡シリーズ＜18＞	
胃降起性病変—その2—	高木 国夫 10(1)
消化管内視鏡シリーズ＜19＞	
胃：メネトリエ病・リンホーム・スキルス	
多賀須幸男	154(2)
消化管内視鏡シリーズ＜20＞	
十二指腸乳頭部癌	
大井 至・佐久間 隆	294(3)
消化管内視鏡シリーズ＜21＞	
小腸鏡	平塚 秀雄・後町 浩二 430(4)
消化管内視鏡シリーズ＜22＞	
大腸の炎症性病変—その1—	
武藤徹一郎・上谷潤二郎	550(5)
消化管内視鏡シリーズ＜23＞	
大腸の炎症性病変—その2—	
武藤徹一郎・上谷潤二郎・山城 守也	
日野 恭徳	674(6)
消化管内視鏡シリーズ＜24＞	
大腸ポリポージス	宇都宮讓二 810(7)
消化器内視鏡シリーズ＜25＞	

肝硬変の内視鏡分類……………島田 宜浩…942(8)

消化器内視鏡シリーズ<26>

消化管カルチノイドー(その1)総論—

曾 我 淳……………1078(9)

消化器内視鏡シリーズ<27>

消化管カルチノイドー(その2)症例集—

曾 我 淳……………1210(10)

消化器内視鏡シリーズ<28>

バレット症候群…遠藤 光夫・林 恒 男…1350(11)

消化器内視鏡シリーズ<29>

急性胃潰瘍—幽門部—……………高木 国夫…1490(12)

〔クリニカル・カンファレンス〕

乳腺のしこりをどうするか

榎本 耕治・藤田吉四郎・富 永 健

広田 映五 (司会)阿部 令彦……………605(5)

術中胆道造影—その撮り方・読み方—

大原 啓介・春山 茂雄・永川 宅和

高田 忠敬 (司会)相 馬 智……………736(6)

上部消化管大量出血をどうするか

政 信太郎・池内 準次・渡部 洋三

高橋 俊雄・小林 迪夫

(司会)武藤 輝一……………1012(8)

逆流性食道炎をどうするか

平 島 毅・宮 菌 光・掛川 暉夫

林 恒 男 (司会)牧野 永城……………1130(9)

〔座 談 会〕

明日の外科医を考える

牧野 永城・出月 康夫・鰐淵 康彦

(司会)曲直部寿夫……………66(1)

明日の外科を考える2

外科卒後教育と研修病院

吉友 睦彦・伊 藤 篤・北 川 晃

(司会)大同禮次郎……………468(4)

肺癌—治療成績向上のために—

青木 国雄・林 豊・於保 健吉

米山 武志 (司会)市川平三郎……………1280(10)

生検の問題点—よりよい診療のために—

斉木 茂樹・黒 田 慧・山口 和克

深見 敦夫・池永 達雄

(司会)牧野 永城……………1410(11)

〔対 談〕

外科卒後教育—トレーニングを受けた

立場から—…木村 壮介・坂本 昌義…361(3)

〔鼎 談〕

消化器外科の基本手技

陣内傳之助・井 口 潔・秋 山 洋…1554(12)

〔誌上シンポジウム〕

術前・術後輸液をどうするか

三 村 孝・小越 章平・百瀬 健彦

柏 崎 修 (司会)牧野 永城……………212(2)

腹部手術における術前・術後の抗生物質を

どうするか

品川 長夫・横 山 隆・中村 輝久

元木 良一 (司会)石引 久弥……………854(7)

〔臨 床 研 究〕

乳腺葉状嚢胞腺腫の臨床的考察

—自験例12例を中心として—

吉行 隆行・曹 桂 植・奥野 匡有

曾和 融生・梅 山 馨……………85(1)

小児虫垂炎の手術適応に対する考察

今泉 了彦・成 味 純・阿部 泰恒

西頭 鈴子……………91(1)

中心静脈カテーテル挿入法の実際

—Supraclavicular subclavian

venepuncture method—

杉田 輝地・横山 清七・幕内 博康

元村 祐三・佐藤 和英・阿部 令彦…97(1)

Dopamine の腎機能および循環系に

及ぼす影響

—術後硬膜外麻酔患者について—

須磨 久善・長崎 文彦・山口 佳晴…103(1)

経皮的胆管ドレナージの内瘻化に関する検討

安田 秀喜・高田 忠敬・内田 泰彦

福島 靖彦・今泉 俊秀・磯辺 孝司

金山 成保・斉藤 明子・小林誠一郎

羽生富士夫……………233(2)

頸部廓清術における胸管損傷の経験と考察

渡辺 豊昭・桜井 道郎・川村 信之

宮 川 信・牧内 正夫・降旗 力男…243(2)

胃癌再発の分類とその問題点について

岩 永 剛……………249(2)

完全静注栄養法とその合併症

藤田 忠義・松本 義信・太田 威彦…373(3)

外傷性血管損傷の検討

浅井 康文・須田 義雄・高橋 延勝

前仏 郁夫・小松 作蔵・和田 寿郎…379(3)

急性虫垂炎のX線診断—144例の検討—

多田 信平・新谷陽一郎・木野 雅夫
南条 光夫・原田 潤太・兼平 千裕
関谷 透・久保田 進・高山 誠
阿武 泉・黒田 敏道・河井 啓三
中村 紀夫・山口 金吾……………385(3)

高カロリー輸液による細菌感染の管理

真島 吉也・樋口 道雄・宮司 勝
永野 耕士・伊藤健次郎・小越 章平
桜庭 康悦・坪井 秀一・碓井 貞仁
竹内 英世・武藤 護彦・川村 宏
原 輝彦・平島 毅・佐藤 博
小林 章男……………393(3)

外科手術にともなう血液凝固線溶系変化

—とくに FDP の変動を中心として—
石丸 新・山田 充・劉 崇信
古川 欽一・高橋 雅俊・金子 文子
馬場百合子……………497(4)

転移性脳腫瘍の臨床病理学的研究

—剖検所見よりみた治療法の検討—
榊 三郎・尾藤 昭二・本崎 孝彦
郷 間 徹・大西 俊輝……………503(4)

縦隔腫瘍の臨床的観察と手術成績および

予後の検討—自験45例について—
猪苗代盛貞・瀬田 孝一・佐藤 雅夫
神 俊一・石田茂登夫・斎藤 盛夫
江村 耀章・島田 克巳・日下 純夫……………509(4)

経 T-tube 的胆道遺残結石摘出術

内本 泉・深井 泰俊・豊田 哲郎
堀田 敦夫・菊川 政男・白鳥 常男……………781(6)

吻合部潰瘍の経験

—病態生理からみた手術方針—
京 明雄・岡本 英三・菅原 一郎
桑田 圭司・豊坂 昭弘・大室 雋
鈴木栄太郎……………787(6)

血行再建術後の早期・晩期閉塞に対する

再手術
塩野谷恵彦・伴 一郎・仲田 幸文
平井 正文・河合 誠一……………887(7)

リンパ球幼若化率による消化器癌患者

術後病態の長期検索
三輪 恕昭・折田 薫三……………891(7)

虫垂炎を契機とした頻回開腹術例の

臨床的検討
中尾 実・鎌迫 陽・長石泰一郎
尾崎 行男・井上 雅勝・来海 秀和……………897(7)

Vater 乳頭部癌と他臓器重複癌

—自験3例と本邦報告例の検討—
成末 允勇・岡島 邦雄・藤井 康宏
曾我部興一・荒木京二郎・石川 純……………1041(8)

腓骨動脈再建術

伊藤 勝朗・生駒 義人・山本 文雄
須江 秀一・中村 和夫……………1049(8)

Blind Loop Syndrome 症例の検討

谷田 理・金山 博友・飯塚 保夫
前田 勉郎・西村 興亜・古賀 成昌……………1157(9)

十二指腸潰瘍に対する迷切兼幽門成形術の

長期遠隔観察による評価
平島 毅・原 輝彦・竹島 徹
川村 功・中村 宏・丸山 達興
竹内 英世・武藤 護彦・坂本 昭雄
山室美砂子・碓井 貞仁・小越 章平
佐藤 博・広田 和俊……………1163(9)

Starr-Edwards ペースメーカーの使用経験

浅井 康文・兼古 悟・杉本 健司
藤堂 景茂・田中 信行・小松 作蔵
和田 寿郎……………1169(9)

死体腎移植後早期の管理と経過

落合 武徳・雨宮 浩・渡辺 一男
宮島 哲也・坂本 薫・林 良輔
佐藤 博・岩崎 洋治・横山 健郎
柏原 英彦・大森耕一郎……………1309(10)

急性硬膜下血腫の激症型

—超急性硬膜下血腫 peracute subdural
hematoma について—
平田 輝昭・佐々木 亮・柳橋 萬之
土田 富穂・早川 勲……………1315(10)

胃全摘後の吻合法別にみた術後障害と

術後状態
岩永 剛・古河 洋・神前 五郎……………1439(11)

胆道感染症におけるエンドトキシン血症

—臨床成績を中心に—
嶋田 紘・新明紘一郎・佐藤 一美
鬼頭 文彦・阿部 哲夫・石黒 直樹
福島 恒男・小林 衛・土屋 周二……………1445(11)

胆道良性腫瘍性病変の臨床病理学的検討と

癌化の問題……………岡島 邦雄・木村 速雄……………1577(12)

〔臨床報告〕

浅側頭動脈瘤の2手術例

金子 義宏・古和田正悦・高橋 睦正……………117(1)
原発臓器を異にし双方に悪性腫瘍の発生

をみた一卵性双生児
 尾崎 健一・浜副 隆一・川口 広樹
 藤井 卓・前田 迪郎・岸本 宏之
 安達 秀雄・古賀 成昌・谷田 秀
 田崎 陸夫……………123(1)

四肢血管外傷
 小林 武彦・稲村 征夫・渡久地政夫
 岡山 和猷……………127(1)

腸管囊腫様気腫の1例
 笹原 政美・添野 武彦・藤原 慶之
 柿崎 五郎・増田 久之・小泉金次郎
 石館 卓三……………131(1)

乳幼児にみられた四肢末端壊疽
 森山 正明・草場 昭・与那原惠永
 井口 潔……………135(1)

急性炎症症状を呈した肛門腺より
 発生した肛門癌の1例
 中山 富太・鷺淵 孝雄・江里 健輔
 津嘉山朝達……………253(2)

経肛門に切除しえた直腸 villous
 adenoma の1例
 山本 恒義・村上 哲之・菊地 惇
 小笠原雅通・華表 克次・小澤 正則
 佐々木睦男・伊藤 素之・今 充……………257(2)

腹壁外に直接発育増殖を呈した虫垂癌の1例
 谷田 理・阿部 重郎・谷田 真
 西村 興亜……………263(2)

回盲部にみられた非特異性単純性潰瘍の2例
 大熊 隆介・黒木 信善・加藤 秀典……………267(2)

原発性アルドステロン症の2例
 岡田 昭紀・林 淳治・村瀬 恭一
 広瀬 光男・稲田 潔・鎌倉 充夫……………399(3)

胆嚢の良性隆起性病変について
 瀬藤 晃一・植松 清・五百蔵昭夫
 藤田 茂夫・西尾 幸男・杉原 順一
 羽田 淳一・宮村 忍……………405(3)

内視鏡的拡張術による術後食道空腸
 吻合部狭窄の2治験例
 田村 仁信・長田 功・尾形 正方
 金杉 和男・萩原 優・山田 洋介
 得平 卓彦・渡辺 弘・草刈 幸次……………411(3)

妊娠に合併した絞扼性横隔膜ヘルニアの1例
 佐野 彰・富田 良照・名知 光博
 村瀬 恭一・広瀬 光男……………415(3)

下行結腸リンパ管腫の1例
 伊藤 隆夫・村上 哲之・塩谷 晃

伊東 恭悟・井上 茂章・伊藤 誠司
 今 充・大内 清太・棟方 昭博……………515(4)

Sipple 症候群の1例
 田中 忠良・宮原 義門・森重 一郎
 佐藤 智城・大石 省三・近藤 導弘……………521(4)

副血行路閉鎖手術により改善した
 猪瀬型肝脳症の1例
 萩原 優・出月 康夫・尾形 正方
 田村 仁信・金杉 和男・渡辺 弘
 岡部 和彦……………529(4)

急性気腫性胆嚢炎の1例
 柳 郁夫・青木 博美・井出 裕雄……………533(4)

転移が臨床的に先行した甲状腺癌症例
 —いわゆる occult cancer について—
 富田 正雄・柴田紘一郎・古賀 保範
 鬼塚 敏男・迫田耕一朗・綾部 公懿
 永野 信吉・川崎 正名・中村 譲
 辻 泰邦……………641(5)

十二指腸潰瘍を合併した double pylorus
 の1手術経験
 松木 久・山下 芳朗・鰐淵 勉
 曾我 淳・武藤 輝一・田代 成元……………647(5)

肺癌の腸管転移
 —下血を来した多発性小腸転移の
 1手術治験例—
 中川 公彦・福沢 正洋・辻本 雅一
 亀頭 正樹・岡田 正・佐谷 稔
 正岡 昭・曲直部寿夫……………653(5)

乳糜性腹水を主症状とした後腹膜
 細網肉腫の1例
 安村 忠樹・児玉 博行・岩本 稔
 落合 準二・南里 一光・辻 康裕
 飯田 優・中村 充男・服部 隆則……………657(5)

結腸憩室穿孔の2例
 三好 康夫・大塚 康吉・坂口 勲
 加地 信彦・安永 英孝・伊藤 民雄……………793(6)

乳腺 Paget および Paget 様病変4例の経験
 高橋正二郎・小田 正博・高松 正之……………903(7)

内視鏡下に摘出した直腸脂肪腫の1例
 —本邦報告例の検討および文献的考察—
 大山 廉平・東泉 東一・安藤 幸史
 落合 正宏・加勢田 静・笠原 正男……………907(7)

腸部大動脈高位閉塞症の臨床
 岡本 好史・山中浩太郎・田苗 英治
 渡辺 裕・松田 光彦……………913(7)

陳旧性消化管損傷に対する自家遊離腹膜

パッチの効果

—実験成績と臨床1 治験例—

八 坂 朗・中村 輝久・夏田 康則

上尾 裕昭・杉町 圭蔵・井 口 潔…919(7)

巨大な非機能性膵島細胞腫の1 例

高嶋 成光・福田 和馬・芳 村 剛

三好 恵一・森脇 昭介…925(7)

前縦隔に発生した嚢腫性リンパ管腫

猪口 嘉三・倉岡 三郎・則松 俊一

西 村 寛…1055(8)

Insulinoma 9 例の検討

竹田 力三・岸本 宏之・田中 公晴

井 上 淳・川口 広樹・宮野 陽介

古賀 成昌・宗像 雅丈…1059(8)

十二指腸 Carcinoid

—胃潰瘍・早期胃癌合併例—

猪口 嘉三・福嶋 博愛・小深田盛一

猪狩 民生・溝 口 実・国崎 忠彦…1185(9)

若年者乳癌の1 例ならびに本邦報告例の検討

鈴木 定雄・伊勢 重男・土屋 敦雄

古川 良弥・渡辺 英雄・渡辺 岩雄…1191(9)

胆摘後17年目に発生せる胆石

イレウスの1 症例

坂本 栄一・折 居 喬・上村 志伸

安達 秀治・高橋 一洋・鳥居 有人…1195(9)

同時多種ホルモン産生を伴った Zollinger-

Ellison 症候群の1 治験例と本邦の

報告例の検討

高 見 博・阿部 令彦・中川 自夫

田代 征夫・山近 勝美・阿 部 薫

亀 谷 徹・安 達 勇…1321(10)

胃海綿状血管腫の1 治験例

中山 真一・松坂 俊光・古賀 俊六

児玉 好史・朔 元 則・副島 一彦…1329(10)

小児馬尾神経腫の1 手術治験例

森山 隆志・三田 禮造・鈴木 重晴…1335(10)

上皮小体嚢胞の1 例

小笠原雅通・工 藤 一・町田 清朗

小泉 亮道…1453(11)

三重複癌(子宮・乳・直腸癌)

の1 手術治験例

古川 俊隆・谷 治 郎・本田善九郎

鈴木 征夫・馬淵 基樹…1457(11)

遅発性脾破裂の1 治験例

—本邦集計21例および文献的考察—

大山 康平・有森 正樹・高野 信篤

木 村 忠・疋田 達雄・栗林 宣雄…1463(11)

胸骨に原発した形質細胞腫の1 例

西 村 正・福 井 亨・小野 典郎

岡 憲 文・美 馬 昂・塚 口 功…1469(11)

新生児肝血管腫の1 治験例

池沢 輝男・伊 奈 博・飯尾 賢治

矢 野 洋・安井 健三・加藤 量平…1473(11)

先天性胆管拡張症に癌の発生した症例および

先天性胆管拡張症16例の経験

小野 典郎・岡田 康孝・角谷 富男

福 井 亨・岡田 清文・雲井 康晴

西 村 正・小原 秀一・田 中 勲…1583(12)

同一家系にみられた散在性大腸ポリープの2 例

井上 勝六・宮川 勝馬…1589(12)

胆嚢癌を合併した成人型先天性胆道拡張症

の2 症例

松 永 章・田 中 隆・山本 秀雄

友田 信之・小林 重矩・篤永 荘司

中山 和道・古賀 道弘・二又 義夫

小金丸道彦…1593(12)

〔手術手技〕

頸胸境界部食道癌に対する胃管による

非開胸下食道再建術

平野 雅士・三戸 康郎・犬尾 修三

曾田 豊二・池 田 公・加藤 寿彦…111(1)

非開放性一層断端吻合によるわれわれの

大腸吻合法

松林富士男・土屋 喜哉・佐藤 薫隆…635(5)

食道再建時の頸部での食道胃端側吻合および

胃瘻造設…猪口 嘉三…777(6)

ブロッケンブロー法を応用したバルーン

カテーテルによる下大静脈膜様閉塞

部穿刺裂開術の経験

清水 幸宏・宮 本 巍・堀口 泰範

小澤 正澄・大橋 博和・鈴木 文也

末広 茂文・岡本 英三…1175(9)

〔外科医の工夫〕

胆道ファイバースコープを用いた胆石症

の診断と治療…山川 達郎…771(6)

〔薬 剤〕

体外循環開心術ならびに出血性ショック

時の血清酵素の意義

小 林 稔・江口 昭治・田 中 誠

吉野 武・鷺尾 正彦・浅野 献一…273(2)

神山 守人…1030(8)

〔Spot〕

光ファイバー・レーザーメス

桜井 靖久・菊地 真…1026(8)

輸血フィルターの問題点…隅田 幸男…1146(9)

病理からみた肺癌—治療成績向上のために—

林 豊…1298(10)

電気メスはなぜ切れるか—著者らの考え方—

相馬 智・小野美貴子…1573(12)

〔トピックス〕

成分栄養法…小越 章平・碓井 貞仁…230(2)

胆道鏡の進歩…新井 健之…757(6)

肺癌—新しい診療のポイント—末舛 恵一…1293(10)

〔Practical Postgraduate Seminar〕

患者の評価の仕方

相馬 智・小野美貴子…489(4)

術前・術後1：一般的な患者の取扱い方

小山 真…626(5)

術後の諸問題…桜井 健司…762(6)

術直後の Care—I.C.U. における管理—

美濃部 嶋…878(7)

救急蘇生法…森 岡 亨・宮崎 久義…1034(8)

術前・術後2：特殊な状態での管理

心、肺機能に異常がある場合

浅原 廣澄・尾本 良三…1150(9)

術前・術後3：特殊な状態での管理

肝機能に異常がある場合…吉田 奎介…1302(10)

術前・術後3：特殊な状態での管理

腎機能に異常がある場合…太田 和夫…1430(11)

〔外科教育を考える〕

外科卒後教育：トレーニング・プログラム

—神戸中央市民病院の場合—

吉友 睦彦…485(4)

〔講座〕

ハリ麻酔 ⑩ハリ麻酔の有効性

…神山 守人…82(1)

ハリ麻酔 ⑪ハリ麻酔の理論的背景

神山 守人…371(3)

ハリ麻酔 ⑫ハリ麻酔の副作用

神山 守人…622(5)

ハリ麻酔 ⑬ハリ麻酔からハリ治療へ(最終回)

〔書評〕

佐藤博監修, 小越章平, 碓井貞仁著:「図

解・高カロリー輸液」…早坂 滉…42(1)

麻田栄, 岡田昌義著:「虚血性心疾患

の外科療法」…曲直部寿夫…50(1)

W. Doerr, G. Schumann, G. Ule 著

慶応義塾大学病理学教室訳:「病理

学図譜」…飯島 宗一…62(11)

R. A. Chase 著 東大医学部整形外科

手の外科診グループ訳:「手の外科

手術アトラス」Atlas of Hand

Surgery …津下 健哉…270(2)

W. Doerr, G. Schumann, G. Ule 著:

慶応義塾大学病理学教室訳:「病理

学図譜」…赤崎 兼義…344(3)

森健躬著:「頸椎の外科」…恩地 裕…360(3)

鬼塚卓弥編集:「標準形成外科学」

難波 雄哉…392(3)

千野直一著:「臨床筋電図・電気診断学入門」

明石 謙…467(4)

K. Beck 他著, 竹本忠良, 多賀須幸男訳:

「図説 腸疾患の内視鏡と生検」

吉田 豊…527(4)

常岡健二編集:「消化管内視鏡診断学大系7」

「胃 ⑤進行胃癌・その他の悪性腫瘍」

近藤台五郎…561(5)

H. A. Lee 編集, 山本政勝・他訳:「急性代

謝障害時の経静脈栄養法」

武藤 輝…568, 早坂 滉…603(5)

佐野量造著:「胃と腸の臨床病理ノート」

村上 忠重…760(6)

H. H. Friedman 他著, 日野原重明監訳

「PO 内科診断マニュアル」

堀原 一…769(6)

Eddy D. Palmer 著, 丹羽寛文・他訳

「パーマー消化器病学のポイント」

岡部 治弥…873(7)

神谷喜作・他著「脈管造影の実際

—改訂第2版—」

三島 好雄・田辺 達三…874(7)

Fritz Rehbein 著「Kinderchirurgische

Operationen」…木村 茂…1119(9)

Gösta Rooth 著, 一柳邦男訳「酸塩基・

電解質平衡」…沼田 克雄…1148(9)

- Eddy D. Palmer 著, 丹羽寛文・他訳
「パーマー消化器病学のポイント」
亀田 治男……………1183(9)
伊藤鉄夫著「末梢神経の外科」
津下 健哉……………1240(10)
Eddy D. Palmer 著, 丹羽寛文・他訳「パー
マー消化器病学のポイント」
木原 彊……………1258(10)
佐藤博監修, 小越章平・碓井貞仁著
「図解高カロリー輸液」…………早坂 滉…1313(10)
森健躬著「頸椎の外科」…………片岡 治…1334(10)
森健躬著「頸椎の外科」…………津山 直一…1376(11)
藤野豊・他著「マイクロサージャリー」
牧野 惟男……………1388(11)
佐藤博監修, 碓井貞仁著「図解・
高カロリー輸液」…………光野 孝雄…1425(11)
竹本忠良・鈴木茂編集「消化管出血と
緊急内視鏡検査」…………相馬 智…1425(11)
平松京一・平松慶博著「腎・副腎・
尿路疾患のX線診断」…………田坂 皓…1426(11)
ルネ・ルリィシュ著, 森岡恭彦訳「わが生
涯の一期一会—大外科医ルネ・ルリィ
シュの自伝—」…………稲田 潔…1427(11)
和田孝雄著「輸液の基礎知識—プログ
ラム演習—」…………岡田 正…1436(11)
K. Beck・他著, 竹本忠良・多賀須幸男訳
「図説腸疾患の内視鏡と生検」(日本版)
吉田 豊……………1456(11)
竹本忠良・鈴木茂編集「消化管出血と
緊急内視鏡検査」…………川井 啓市…1570(12)
- 〔追悼〕
浜口栄祐先生が偲んで…………木村 信良…280(2)
大槻菊男先生
木本 誠二・石川 浩一・林田 健男…355(3)